





















島嶼里方面戰報

ハ市日本軍歡迎

我派遣軍と軍票

滿洲里方面戰報

我軍チタ進軍

オムスク政府閣員

エカテリ會議散會

在露我官民引揚

赤衛軍市撤退

伊軍ムルマン到著

サンカンタン近し

獨西紛議解けん

北歐同盟と聯議

八月京城氣象

過軍豪古入

米大使戰地視察

西政府承認

怪人浦港行

三浦子首相

憲政大會延期

勸業債券發行

英艦沈没

富山縣視察團

米輸入有望

鐵道工場事業

京畿道割當

米國四大研究所

比島木船建造

地方米價下落

輕鐵

鑛業登錄

判任見習試驗

本浦の海員試驗

漆工會社設立許可

輕鐵列車時刻

輕鐵列車時刻

輕鐵列車時刻

輕鐵列車時刻

輕鐵列車時刻

輕鐵列車時刻

輕鐵列車時刻

輕鐵列車時刻

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵

輕鐵







つま  
つ  
こ  
九、十

十五の三 小林蹴月作 武内桂舟讀

それこそ反對に、駒子は、（自分）  
心にならねて、毛氈も襦袢の心  
が痒いやうな事はなかつた。駭ふ  
心もなかつたれば、その一月以上  
三月居らすの間、町川の命のまゝ  
受つて居たのである。そして、  
町川が眞に家庭の眞味を知り、（神）  
の尊厳に感じて、餘儀がないでな  
く書の幸抱を爲る時節が來たら  
（は）自分は唯好く斷りを云つて身  
違かうと思つて居たのであるが、  
態様を假けた然う云ふと、（神）  
する事出来得ずして、町川も別  
れ駒子も別れ去るのは、幾だ幾さ  
なのである。けれども、元々戀か  
も成立した仲でないから、好むで  
はないが、萬止むを得ない代償に  
貰つてゐた。諦めの好い駒子は、

あることには、その理由も結東  
の爲めであり、現在苦悶の中  
が摩りやうに思はれたのであ  
「分らない……駒子さん」云  
事だて、本當にその云ふ通り  
あるもの無しが分つたもんぢやあ  
や罵へん。」

月は、（神）の影に喰ひかゝる  
共に懸望し、啼く音も一ノ歩寂しく  
た、居るべき管の駒子が去り  
驅るべき管の人達が離れない  
で駒子は、難に整飾の心算をし  
へた。「口には見ぬねえ、もう秋  
の候か合點とするやうな冷やか  
氣、魔の草束を渡つて、舞



取う藤張と町田某の家通に昇取り  
 かけたのである。久三郎の方は  
 宿まきの木村達の世話で在るが  
 在るかも知れぬが、藤子の方は  
 全くそれがない。但し藤子に寄つ  
 た落快朗情朗の奏を達し得な  
 したつては、是は畢竟、藤子に  
 對し、氣の毒である残念に思つた。  
 「愚哉、常態ながら排他無量なこ  
 ヲする。併し、念の留めお掛に  
 なつて、艶麗になるのも好いでせう  
 が。」  
 云ひ捨て、學は、「一先づ彼方  
 の書へ引退つた。それは勿論、立  
 つゝ馬も膝を濡さず、爲めの下で準備ミ  
 知れたる。藤子は、恥ぢしうに  
 物足らぬうちに、それを爲送するの  
 みであつたが、藤子の眼から見た  
 彼女には、或る淫靡の趣味に於て、  
 寧ろ一種の心安さを感じたので  
 ある。此方の物に極つて  
 居る成る物を、奪取しうき去  
 らうと爪を磨いた狐白淫して居る  
 女が、全身の眼尻から汗を流して  
 思つた。  
 〇叫に感へる。  
 藤子は、疾くの前後、床を取  
 せて置いたのである。何うし  
 もの、それを入つて、裸に就か  
 る。云ふ方が起る。一、一、一、  
 自分介鳥とやら云ふ待合に、  
 櫻葉の、艶麗奏の奏を達し得  
 には、いさぎ、感で居るの、あり  
 か、それとも、藤子の、  
 麗を付付けて、姿の映話に夢  
 ては居るのであらうか。藤子  
 〇這般事が氣に懸つて仕舞  
 何の後の爲て居る間に、  
 の針は十一時を向つた。何時  
 想て居た所で、良人の寝て  
 たるない内、思ひ、  
 角へ床へ入る。怪はつて見た  
 の、無量の合さず客は、月  
 した。藤子は、  
 つた。また藤子  
 眠めて居る方が解得である  
 思つた。

公私衛生

注意の不注意

近來又復市内に

▲**傍目**で見てよめもこ量

洵に餘儀なきこと何しろ此頃

の選考は、例へば一萬石十位以上にして、日而獨な世話をせ居るであらうと思ふのみでも、金吾を百人以上の官が動いて居るであらう。これは過り一時の汚濁滯滞、色々な關係が相成つてゐる體に増したことは漸く覺するものであるが、此の非常なる以て増進したには又原因があるのであるから、來年の變化するものがあるが、其のたゞして繩の油も譯は無いらぬものとすや、更に不慮の注意を要するとして、官吏相互の共同御互の制衡力に依て譯せない治の時既に變るのである。

惟頁 匪及丁

[illegible]

軍  
隊  
毛  
布

[illegible]

肺病助模炎藥

[illegible]

胃腸病科  
診察時間 午後九時迄  
石川 丁  
電話 一三九二  
○九

儀三十餘年來頑固なる痔疾に悩み居候  
 所、**久枝肛門病院**院長**久枝秀之**居候  
 特神妙なる無痛注射療法に依り些の苦  
 無く全治仕り候段、一家の幸福之に  
 茲に同院長同醫員諸氏に奉深謝候供  
 兩相憐むの趣意に依り謹告仕候尙入  
 意切なる御見舞を賜はりたる各位に乍略  
 以紙上御厚禮申上候敬具

元正御覽榮尚幸王

九月十日

横山喜太郎

Overland

TRADE MARK REG.

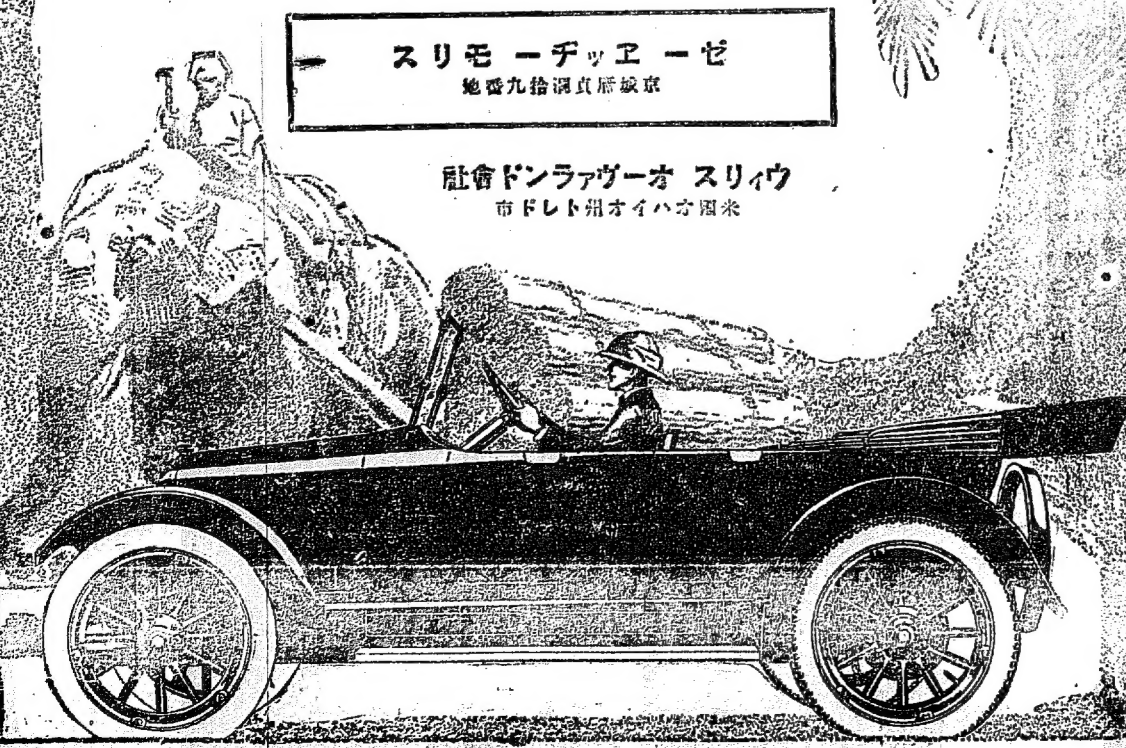
參千貳百圓

圓百貳千參格價

也型○九仁是

オーストラリアの自動車動の使るさる十五萬

シリプス・アヴレ・シカ都後れ是しよ地心乗 大力速 美觀外  
りなばれざら上飛もきとる走を路道るな惡粗り由に造構のダ  
りなばれな易平走駛り依にヤイタるな大  
ら掛仕氣電りよ舵 りあ地餘すば伸を足 に共客乗に共手轉運  
得し轉運も子女 り  
易容縱操もか而てしく強力動 く良地心乗もか而てしに快輕  
也き向用實程るざせ損破尙てし用使に暴亂  
車動自此はるな廉低格價てし而しな途費に外てし備完品屬附  
也以所るす飛雄に界世が



スリモーチッエーゼ

地番九拾捌貞曆城京

社 會 ドンラザーオ スリィウ

米國オイホ州トレド市

七大醫學博士の賞讃と証明を有する  
美味滋養の  
葡萄酒  
**赤玉ポートワイン**

惡疫にかゝらぬ用心には  
朝夕一杯は百薬に優る葡萄酒  
赤玉ポートワインを召上るに



健康の  
光明に導く

